

車いすバスケットボール

車いすバスケットボールは、第二次世界大戦後の1940年代にアメリカ・イギリスで誕生したスポーツで、戦争によって負傷した軍人が中心となり、リハビリテーションのひとつとして行われるようになりました。ドリブルをしながらの速攻やゴール下での激しい攻防は、通常のバスケットボールにまさる迫力です。日本では約100チーム、1000名の選手が登録をしており、パラリンピックには11大会連続で出場している人気のスポーツです。

平成30年6月18日(月) 10時15分～12時05分

職能開発科の保健体育の授業において、PwC Japan グループ所属(クラブチーム NO EXCUSE)の橋貴啓選手、仙座北斗選手、森谷幸生選手の3名にご来校いただき、車いすバスケットボールの体験会を実施しました。東京都障がい者スポーツ協会から競技用車いす10台をお借りし、出席した生徒たちは車いすバスケットボールに興味関心を持ち、楽しむことができました。



競技用車いすで走る練習。難しい...



パス練習もしました!



積極的に選手へ質問♪



選手の皆さんと記念撮影